

2018年4月12日

報道機関・関係者各位

株式会社 鳥取再資源化研究所
代表取締役 竹内 義章

モロッコ国際農業展(SIAM)に出展します

株式会社鳥取再資源化研究所(本社:鳥取県 代表取締役:竹内 義章、以下「当社」)は、2018年4月24日(火)から29日(日)(以下、全て現地時間)の6日間、モロッコ、メクネス市にて開催される第13回モロッコ国際農業展(La 13^{ème} édition Salon International de l'Agriculture au Maroc、以下「SIAM」)に出展いたします。

モロッコは農業国である、一方で、野菜生産の中心地であるスス・マッサ地方を始めとした農業地域は乾燥地・半乾燥地が多く、持続可能な水資源の活用は大きな課題となっております。加えて、気候変動の影響により降水量の減少が見込まれ、国連開発計画(UNDP)の推計では同国の降水量は2050年までに最大約50%減少すると報告されています(参照:UNDP climate change adaptation¹)。

当社は、2015年6月より、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」)の中小企業海外展開支援 普及・実証事業を受託し、モロッコのスス・マッサ地域にて多孔質発泡ガラス「ポーラスα」を活用した乾燥地節水型農業の実証事業を行い、トマト・インゲンの実験栽培を行い、50%の節水と同時に20%以上の収穫量増加を実現しました²。

当社は、2017年5月に同国アガディール市内に、子会社 Tottori Resource Recycling Morocco S.A.R.L を設立し、同国農業生産者へ節水・節肥・収穫量増加を通じた農業生産性改善ソリューションを展開しております。

今回の SIAM では、これまでの事業で得られた成果とともに、多孔質発泡ガラス「ポーラスα」を活用した同国農業における生産性改善の提案を行います。詳細は以下ご参照ください。

第13回モロッコ国際農業展(SIAM)

会期 : 2018年4月24日(火) - 29日(日)
開催地 : モロッコ メクネス市
出展ゾーン: 農業資材ゾーン(Agro-Fournitures)
出展ブース: A73

◆本件に関するお問い合わせ

Mail : naoyuki.kano@t-rrl.jp (担当: 狩野)

Web サイトからもお問い合わせいただけます。([こちら](#) から)

¹ <http://adaptation-undp.org/explore/northern-africa/morocco> (2018年3月29日アクセス)

² <http://www.t-rrl.jp/2016/03/greenbeans/>



◆ モロッコでの導入地域・対象作物の拡大

当社は、2015年より JICA 中小企業海外展開支援 普及・実証事業を受託し、モロッコ、スス・マッサ地方にて、当社製品多孔質発泡ガラス「ポーラスα」を活用した、節水型農業の実現に取り組み、50%の節水・節肥を実現いたしました。

2017年5月には、当社現地子会社 Tottori Resource Recycling Morocco S.A.R.L を設立し、より多くの地域、作物にて当社製品を用いた節水型栽培の取り組みを開始しています。

◆ 乾燥地域の農業で節水・節肥への取り組み

2018年より、サハラ砂漠に隣接する、エルラシディア・ザゴラでの節水型農業の取り組みを開始しました。エルラシディアは、平均月間降水量は約 6,7mm、夏季の平均月間最高気温が 38℃の乾燥地です。当地域では、オアシスにて、ナツメヤシ、オリーブやスイカ等の生産が行われています。当社は、サハラ砂漠隣接のオアシスにおいて持続可能な節水型農業を実現するため、まずはエルラシディアでのナツメヤシ栽培及び、ザゴラでのスイカ栽培において、取り組みを開始しました。

<2016年までの展開地域・作物>

地域	対象作物
スス・マッサ地方	トマト、インゲン、トウガラシ

<2017年以降での展開地域・作物>

地域	対象作物
スス・マッサ地方	ブルーベリー、ラズベリー
タルーダント	オレンジ、チョコレート
マラケシュ	メロン
ザゴラ	スイカ
エルラシディア	ナツメヤシ



図1 モロッコ国内の当社製品提供地域*1

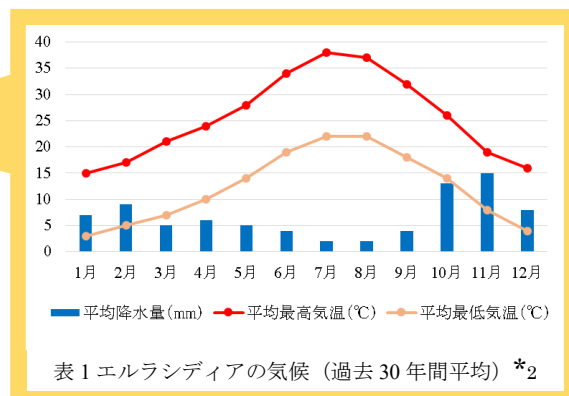


表1 エルラシディアの気候 (過去30年間平均) *2

◆ 導入方法の最適化

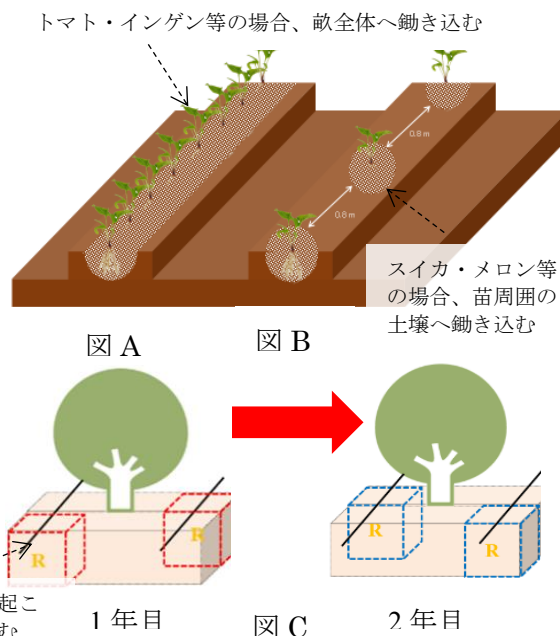
当社製品ポーラスαは土壌に鋤き込むことにより、節水効果を発揮いたします。これまでの野菜類生産への導入に加え、節水型栽培の要望をいただいた果樹生産等への製品導入を開始しました。

1) 野菜類生産

トマトやインゲンなどの苗間の間隔が短い作物の場合、畝の全体にポーラスαを鋤き込みます。(図A) スイカやメロンなどの苗間の間隔が長い作物の場合、苗周囲のみを鋤き込みます。(図B)

2) 果樹生産

植樹済み果樹の場合、樹木周囲の土壌4か所を掘り起こし、土壌に製品を混ぜ込みます。(図C)



灌水域下部の土壌を掘り起こし、製品を土壌に混ぜ込む

当社は、多孔質発泡ガラス「ポーラスα」を活用した節水型農業を通じて、モロッコで深刻となっている水資源の、持続可能な活用実現へ貢献していきます。

*1 出典 Mapchart (URL <https://mapchart.net/africa-detailed.html>, 2018年4月3日アクセス)

*2 参照 Météoblu (URL https://www.meteoblu.com/en/weather/forecast/modelclimate/errachidia_morocco_7280528, 2018年4月3日アクセス)